月　日 名前　　／100点

【小3】国語 文章問題　物語文 3

つぎの文章を読んで、後の問題に答えましょう。

テストの時間に、わたしはけしゴムをわすれたことに気がついた。ふでばこの中をいくらさがしても、見つからない。

算数のテストだった。まちがえた数字を、指でこすってみたけれど、黒くよごれただけだった。むねがどきどきして、問題の文を読んでも頭に入ってこない。

そのとき、となりのせきのはるなちゃんが、自分のけしゴムを半分にちぎって、そっとわたしのつくえにおいた。はるなちゃんとは、同じクラスになってから、まだほとんど話したことがなかった。

わたしは、声を出さずに「ありがとう」と口だけ動かした。はるなちゃんは、前を向いたまま、小さくうなずいた。

テストがおわってから、わたしはけしゴムを返そうとした。でも、はるなちゃんは首をふった。

「それ、あげる。わたしの、まだこんなに大きいから。」

はるなちゃんの手の中のけしゴムは、ちぎったところががたがたで、わたしのとほとんど同じ大きさだった。

家に帰ってから、わたしはその小さなけしゴムを、ふでばこのいちばん大切な場所にしまった。

次の日、わたしは自分から、はるなちゃんに「おはよう」と言った。はるなちゃんは、少しおどろいた顔をして、それから「おはよう」と、わらって返してくれた。

（この問題のための書き下ろし）

問一　はるなちゃんは、どうやってけしゴムをかしてくれましたか。本文から十五字までで書きぬきましょう。

問二　「わたしの、まだこんなに大きいから」とありますが、ほんとうはどうでしたか。いちばんあうものを、ア～ウから一つえらびましょう。

ア　はるなちゃんのけしゴムは、わたしのものより、ずっと大きかった。

イ　はるなちゃんのけしゴムも、わたしのとほとんど同じ大きさだった。

ウ　はるなちゃんは、けしゴムを二つ持っていた。

問三　はるなちゃんが「こんなに大きいから」と言ったのは、なぜだと考えられますか。三十五字までで書きましょう。

問四　次の日、わたしは自分からどうしましたか。本文から二十字までで書きぬきましょう。